

信州大学医学部附属病院 消化器外科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2020年5月22日

「**良性～低悪性度膵腫瘍に対する腹腔鏡下尾側膵切除術の際の脾温存術と脾合併切除術の比較検討**」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。  
この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4741
研究課題名	良性～低悪性度膵腫瘍に対する腹腔鏡下尾側膵切除術の際の脾温存術と脾合併切除術の比較検討
所属(診療科等)	消化器外科
研究責任者(職名)	副島雄二(教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2023年3月31日
研究の意義、目的	本試験により良性～低悪性度腫瘍に対して腹腔鏡下膵体尾部切除術を行う場合に、脾合併切除、脾温存のいずれを選択すべきか高いエビデンスレベルを基に判断することが可能となり、患者の皆様への利益が得られると考えられます。
対象となる患者さん	1993年1月1日から2018年12月31日の期間に当院で腹腔鏡下膵体尾部切除術を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、手術所見、術後経過など
他機関への試料・情報の提供方法	CD-Rに記録された情報を電子的配信にて送付します。
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、脾合併切除、脾温存のいずれが優れているかについて検討します。
共同研究機関名	全国の日本肝胆膵外科学会高度技能認定施設のうち参加を表明した施設 Seoul National University Bundang Hospital
研究代表者	主任施設の名称:九州大学大学院医学研究院・臨床医学部門臨床・腫瘍外科学分野 研究責任者:中村雅史
問い合わせ先	清水 明(信州大学医学部外科学教室 消化器・移植・小児外科学分野 講師) 電話:0263-37-2654

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、主任施設である九州大学大学院医学研究院・臨床医学部門臨床・腫瘍外科学分野に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。